



JP



**bicon**<sup>®</sup>  
DENTAL IMPLANTS

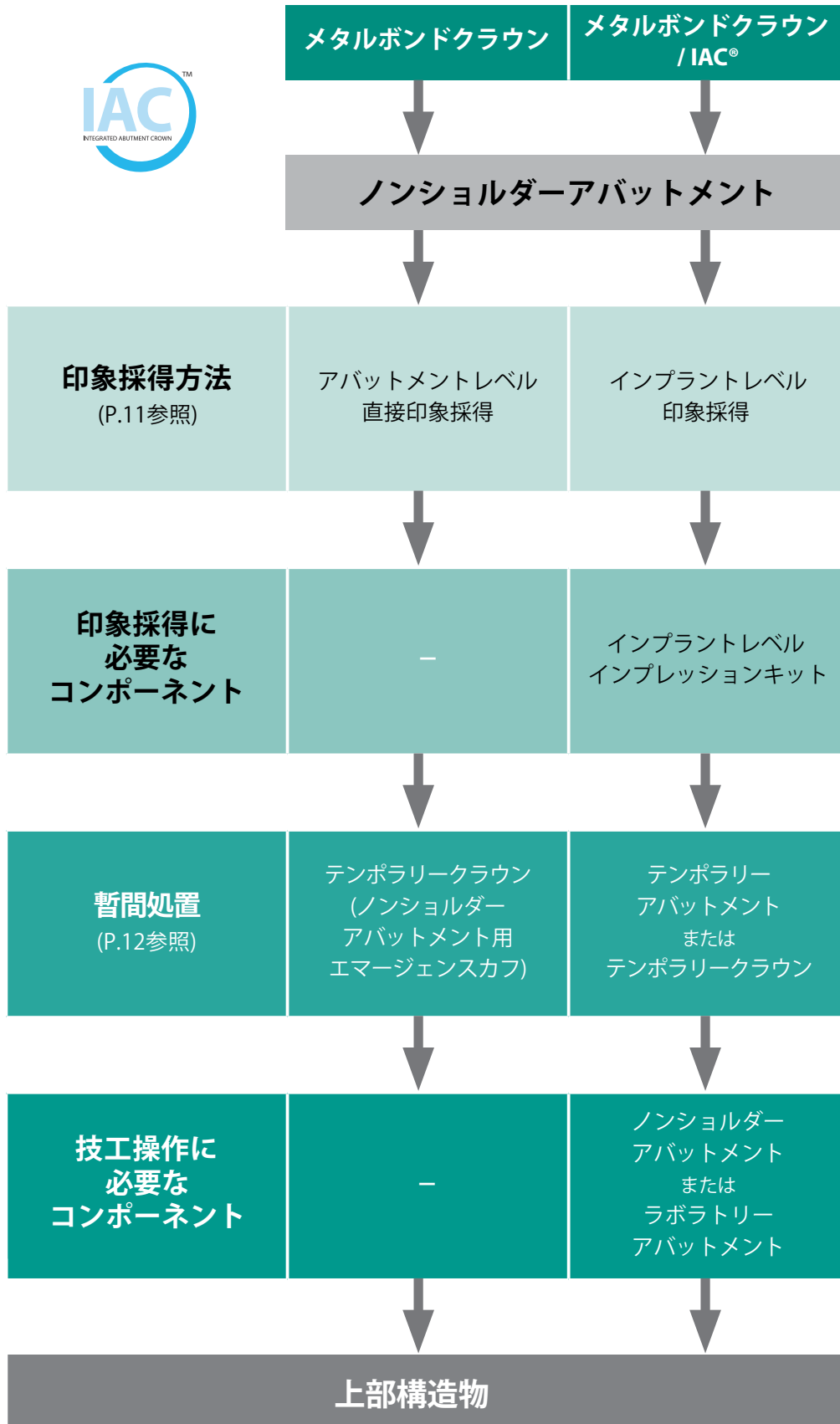
補綴マニュアル

ノンショルダー / ステルスアバットメントシステム . . . . .	2-12
補綴処置フローチャート . . . . .	3-4
ノンショルダーアバットメントシステム . . . . .	5-6
ステルスアバットメントシステム . . . . .	7-9
アバットメント選択ガイド . . . . .	10
印象採得方法 . . . . .	11
暫間処置 . . . . .	12
ブレビスオーバーデンチャーシステム . . . . .	13-21
ブレビスアバットメントシステム . . . . .	14-15
ブレビスチェアサイドテクニック . . . . .	16-19
ブレビス間接印象テクニック . . . . .	20
ラバー製O-リングのメンテナンス . . . . .	21
IAC <sup>®</sup> (Integrated Abutment Crown <sup>™</sup> ) . . . . .	22-24
IAC <sup>®</sup> (Integrated Abutment Crown <sup>™</sup> )装着方法 . . . . .	23-24
アバットメントおよびクラウンの除去方法 . . . . .	25

# ノンショルダー / ステルス アバットメントシステム

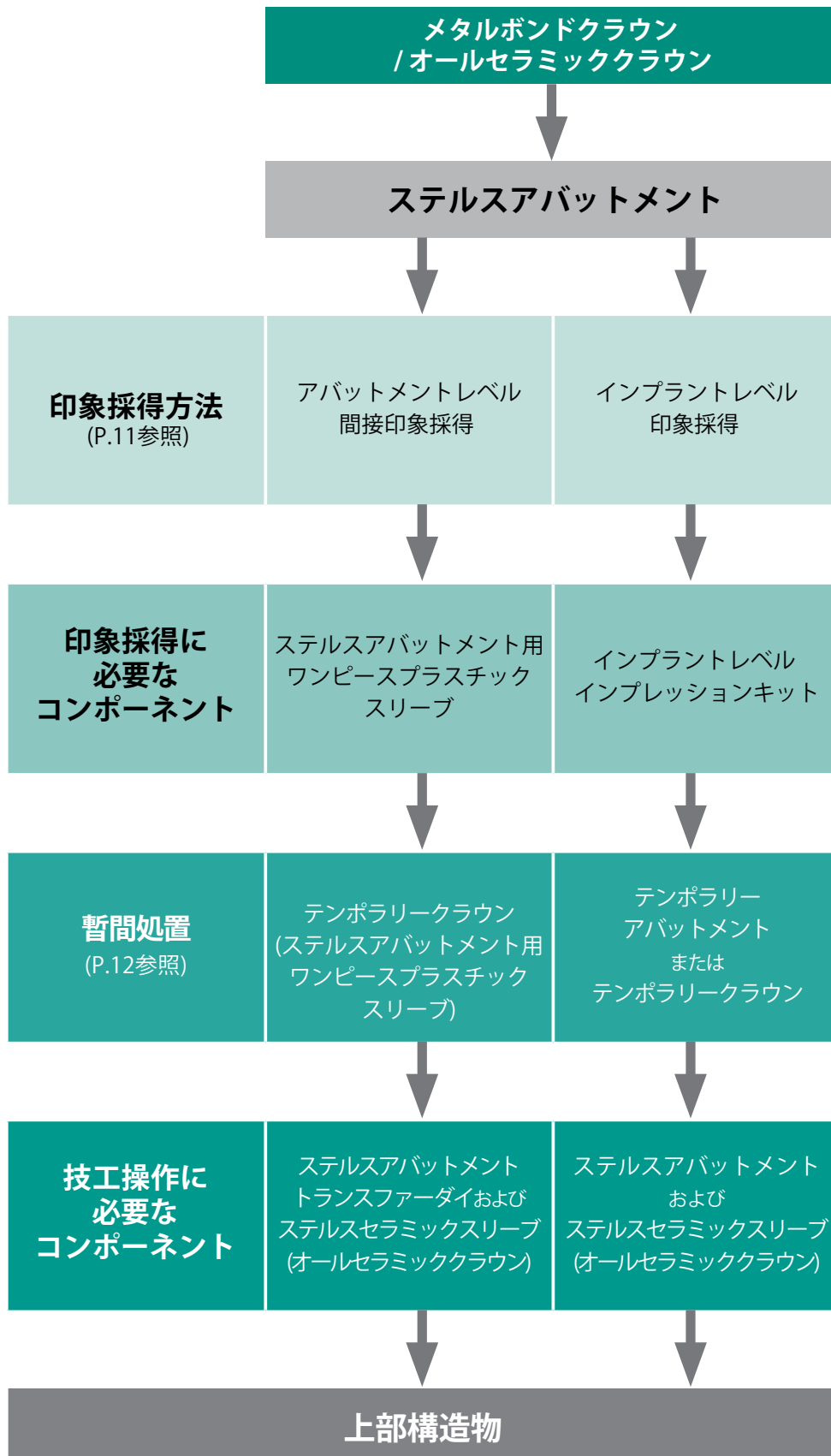


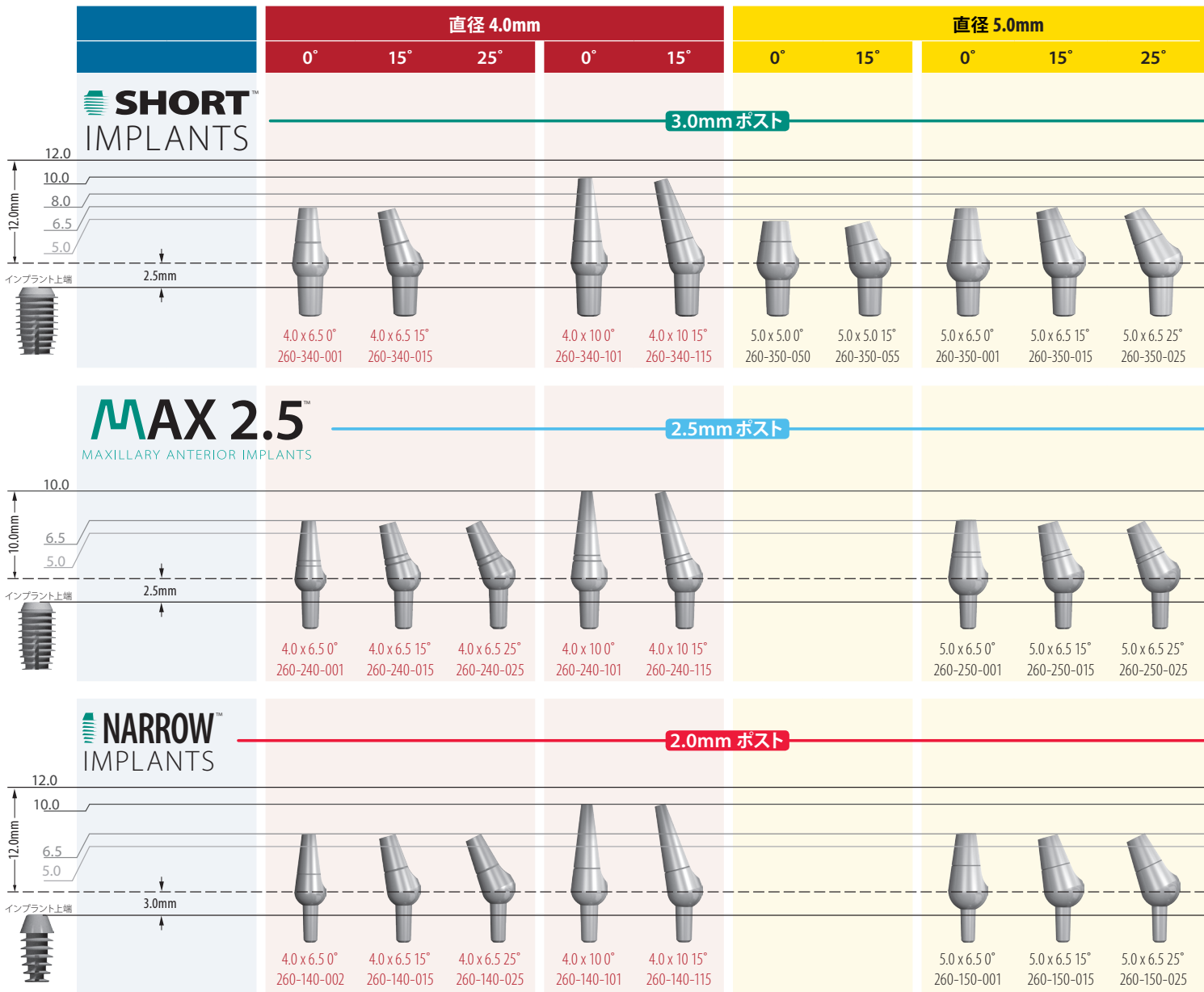
## ノンショルダーアバットメントを使用した補綴処置





## ステルスアバットメントを使用した補綴処置

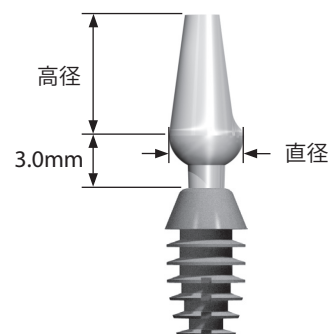


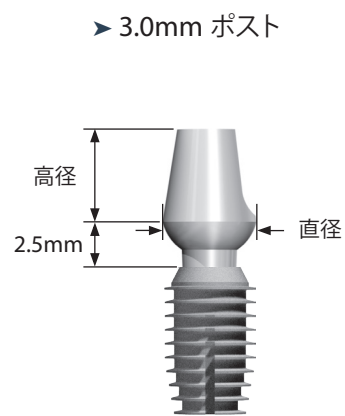
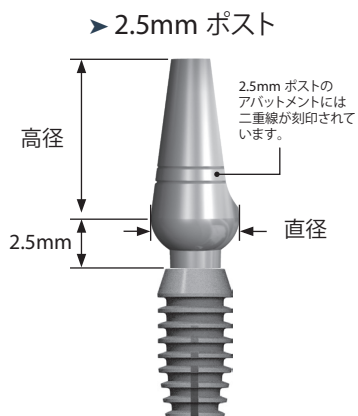
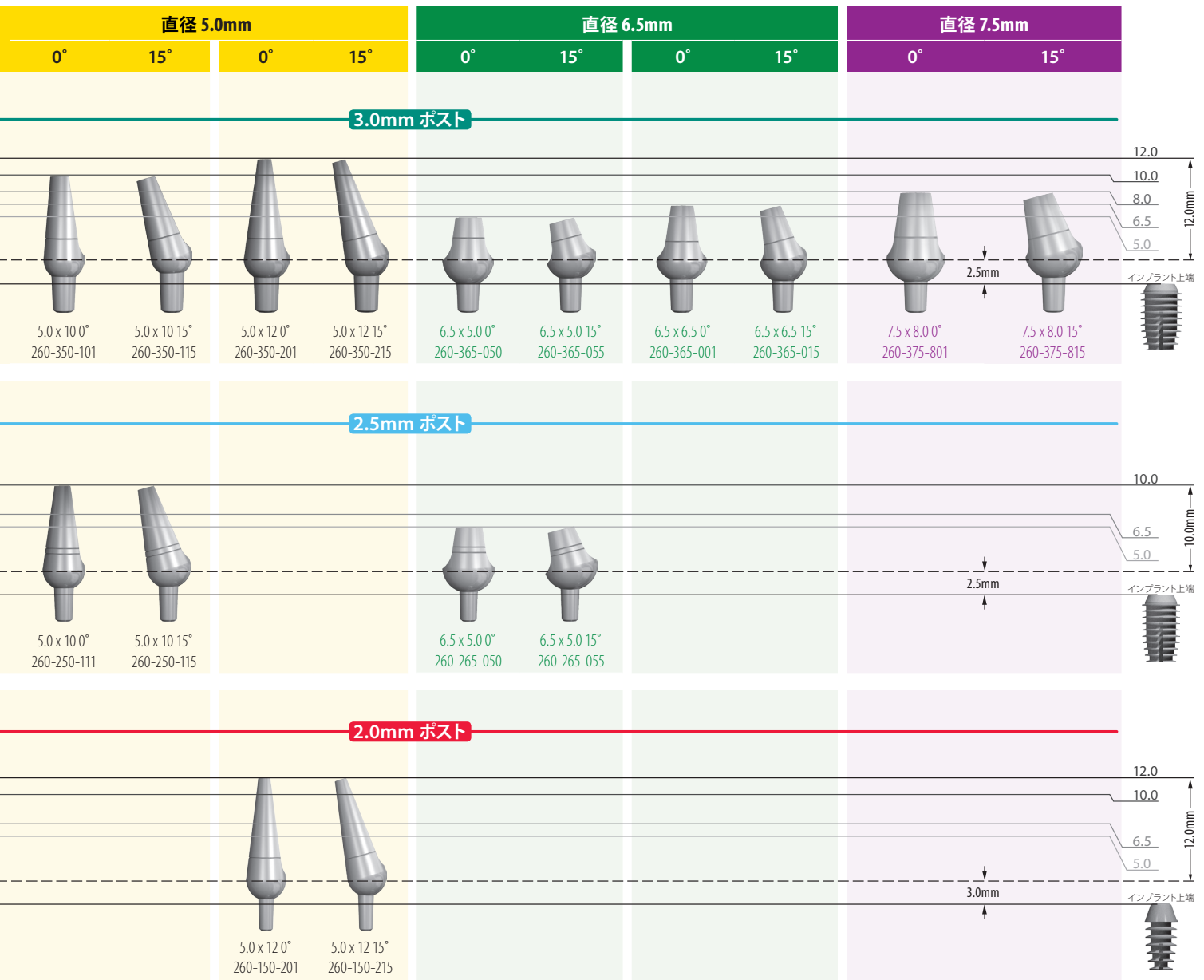


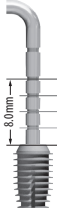

























## ▶ ノンショルダーアバットメント

ノンショルダーアバットメントは最大膨隆部が直径です。  
最大膨隆部より上端までが高径です。

## ▶ 2.0mm ポスト

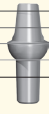
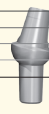







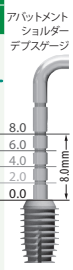


アバットメント ジョルダー デプスゲージ	直径 3.5mm		直径 4.0mm				直径 5.0mm			
	0°	10°	0°	10°	0°	10°	0°	10°	0°	10°
 <p><b>SHORT</b><sup>™</sup> IMPLANTS</p>	<b>3.0mm</b> ポスト									
			 4.0 x 1.5 0° 260-300-300	 4.0 x 3.5 0° 260-300-400	 5.0 x 2.0 0° 260-300-301	 5.0 x 2.0 10° 260-300-302	 5.0 x 3.0 0° 260-300-311	 5.0 x 3.0 10° 260-300-312		
 <p><b>MAX 2.5</b><sup>™</sup> MAXILLARY ANTERIOR IMPLANTS</p>	<b>2.5mm</b> ポスト									
			 4.0 x 1.5 0° 260-250-300	 4.0 x 3.5 0° 260-250-400	 5.0 x 2.0 0° 260-250-301	 5.0 x 2.0 10° 260-250-302	 5.0 x 3.0 0° 260-250-311	 5.0 x 3.0 10° 260-250-312		
 <p><b>NARROW</b><sup>™</sup> IMPLANTS</p>	<b>2.0mm</b> ポスト									
	 3.5 x 1.5 0° 260-200-150		 4.0 x 1.5 0° 260-200-200	 4.0 x 3.5 0° 260-200-400	 5.0 x 2.0 0° 260-200-201	 5.0 x 2.0 10° 260-200-202				
<b>ステルスアバットメントトランスファーダイ</b>										
	 3.5mm			 4.0mm						
<b>ワンピースプラスチックスリーブ</b>										
	 3.5mm			 4.0mm						
<b>ステルスセラミックスリーブ</b>										
	 3.5 x 7.0mm			 4.0 x 7.0mm						

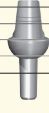
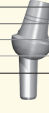

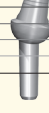
直径 5.0mm					直径 6.5mm			
0°	10°	0°	10°	0°	10°	0°	15°	

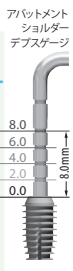
3.0mm ポスト

 5.0 x 4.0° 260-300-321	 5.0 x 4.0 10° 260-300-322	 5.0 x 6.0° 260-300-341	 5.0 x 6.0 10° 260-300-342	 5.0 x 8.0° 260-300-361	 6.5 x 2.0° 260-300-601	 6.5 x 4.0° 260-300-621
--	---	--	---	--	---	--

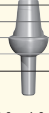



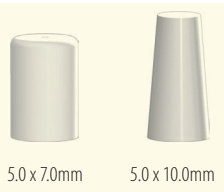
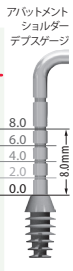
2.5mm ポスト

 5.0 x 4.0° 260-250-321	 5.0 x 4.0 10° 260-250-322	 5.0 x 6.0° 260-250-341	 5.0 x 6.0 10° 260-250-342			
--	---	--	---	--	--	--



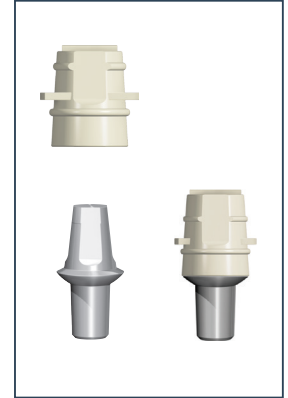
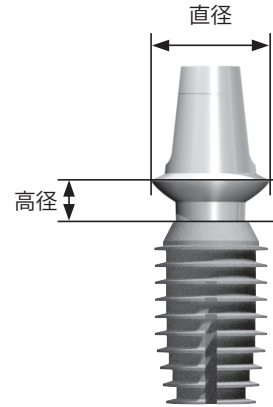
2.0mm ポスト

 5.0 x 4.0° 260-200-221	 5.0 x 4.0 10° 260-200-222					
--	---	--	--	--	--	--

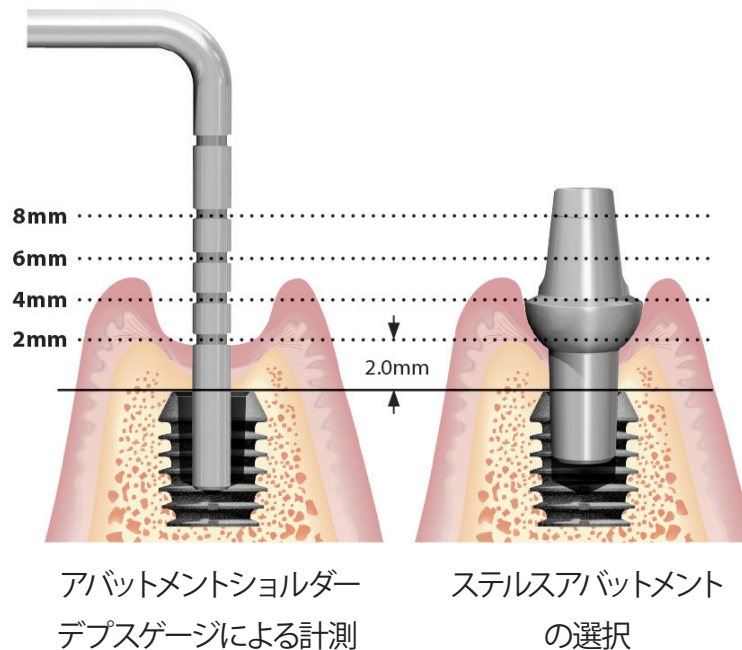


## ▶ ステルスアバットメント

ステルスアバットメントは最大膨隆部が直径です。  
インプラント体の上端からステルスアバットメントの  
最大膨隆部までが高径です。

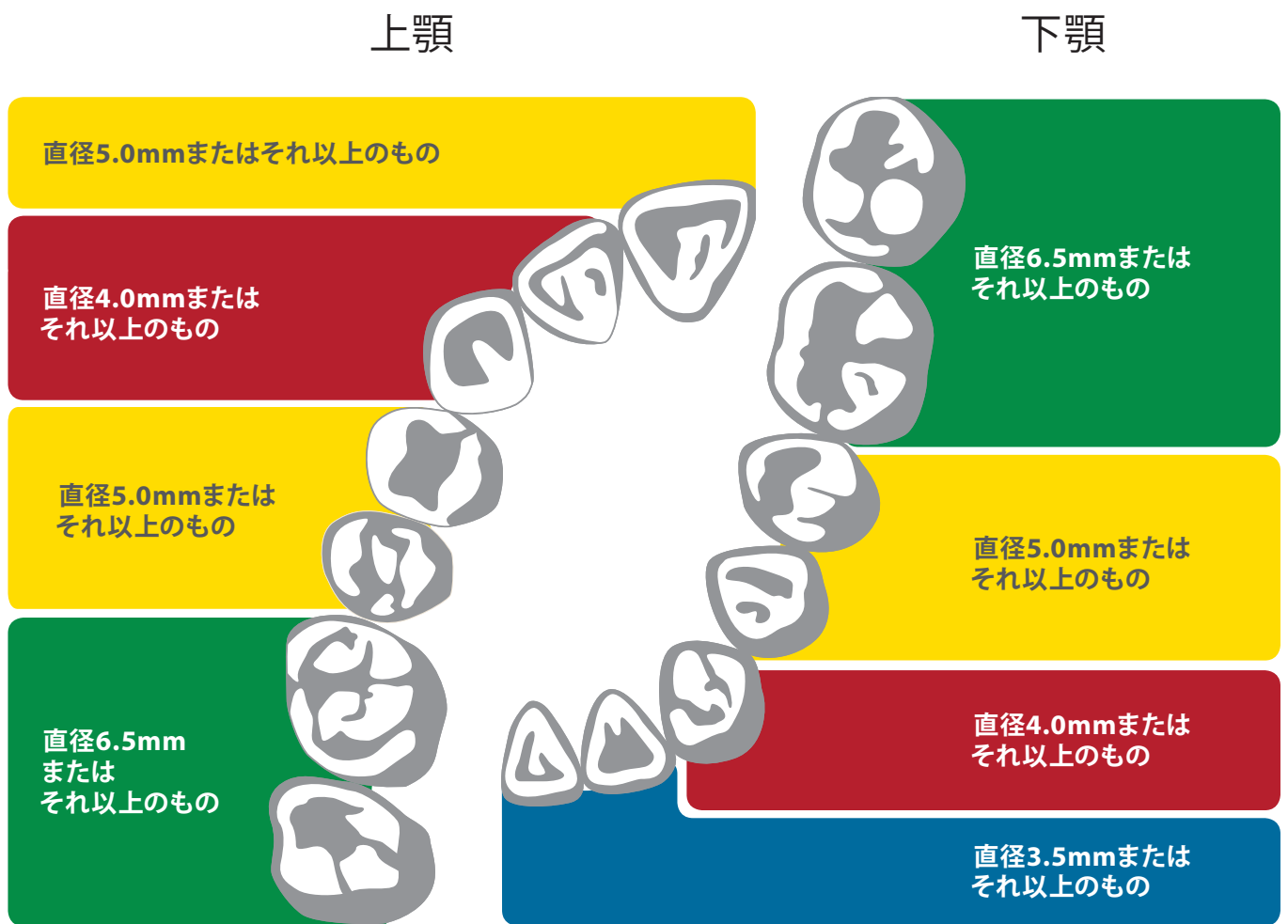


## ▶ ステルスアバットメントの選択方法



適切な高径のステルスアバットメントを選択するためにはアバットメントショルダーデプスゲージを使用します。アバットメントショルダーデプスゲージをインプラント体に挿入し、歯肉マージンまでの高径を測定します。歯肉レベルが目盛の中間にある場合は、審美上、高径が低い方のステルスアバットメントをご選択ください。

# アバットメント選択ガイド

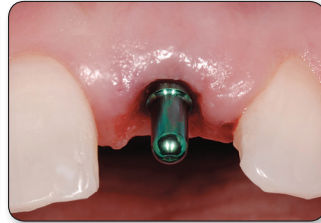


●これらの選択方法は、あくまでも目安としていただくものであり、臨床においては口腔内を診査した上で適切なサイズのアバットメントをご選択ください。

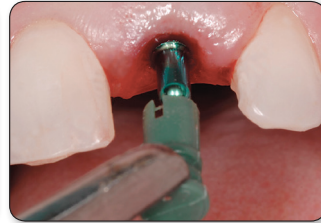
## OPTION ONE: インプラントレベル印象採得



**1** インプラント体の内径に従ってインプレッションポストを選択します。



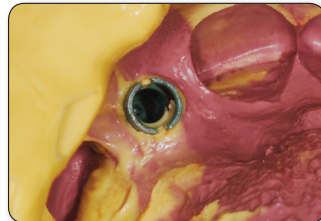
**2** 指圧にてインプレッションポストをインプラント体に装着します。



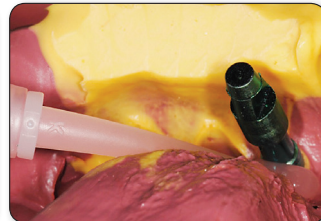
**3** インプレッションスリーブをインプレッションポストに装着します。



**4** インプレッションスリーブ周囲に印象材を注入して印象採得をします。



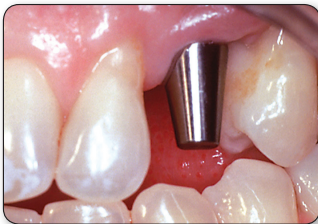
**5** 印象採得後、インプレッションスリーブのみが印象面に取り込まれるようにします。



**6** インプラント体からインプレッションポストを取り外し、インプラントアナログと連結させた後、印象面のインプレッションポストに装着します。

	ポスト (チタン 合金製)	スリーブ (プラス チック製)	アナログ (チタン 合金製)
2.0mm			
2.5mm			
3.0mm			

## OPTION TWO: アバットメントレベル直接印象採得



**1** 適切なサイズのアバットメントを選択し、タッピングをしてインプラント体に装着します。



**2** 必要に応じて口腔内または口腔外でアバットメントを形態修正します。

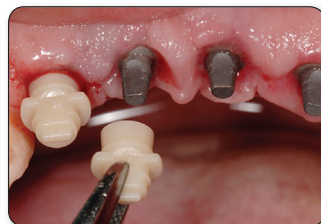


**3** アバットメント周囲に印象材を注入して印象採得をします。

## OPTION THREE: アバットメントレベル間接印象採得



**1** 適切なサイズのアバットメントを選択し、タッピングをしてインプラント体に装着します。



**2** ステルスアバットメント用ワンピースプラスチックスリーブを装着します。



**3** スリーブ周囲に印象材を注入して印象採得をします。

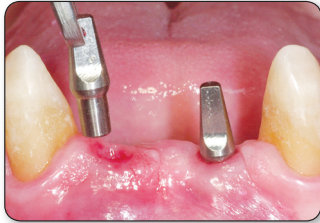


**4** ステルスアバットメントトランスファーダイを印象面のスリーブに装着します。

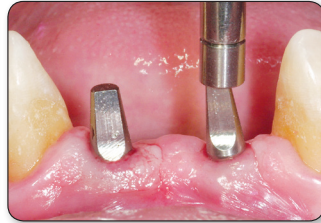


# 暫間処置

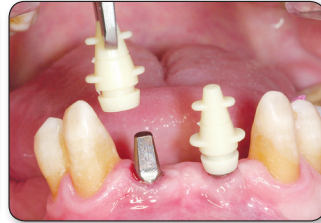
## OPTION ONE: テンポラリークラウンを使用した暫間補綴処置



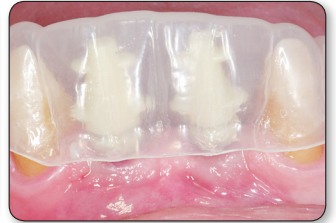
**1** 適切なノンショルダーアバットメントまたはステルスアバットメントを選択し、インプラント体に装着します。



**2** インプラント体およびアバットメントポストの長軸方向に一致するようアバットメントをタッピングします。



**3** アバットメントにTemporization Sleeveを装着します。



**4** バキュームフォームテンプレートを 사용하여Temporization Sleeveの位置関係を確認します。必要に応じてTemporization Sleeveの形態を修正します。



**5** Temporization Sleeve周囲にレジンを注入します。



**6** バキュームフォームテンプレート内にもレジンを注入しTemporization Sleeveと一体化させます。

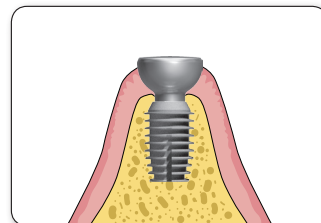


**7** 口腔内からレジン除去し、整形および研磨します。



**8** 完成したテンポラリークラウンを仮着し、審美的なエマーゼンスプロファイルを付与します。

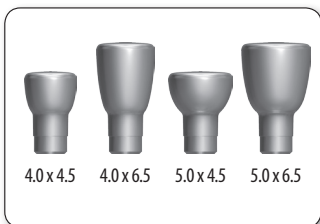
## OPTION TWO: テンポラリーアバットメントを使用した暫間処置



2次手術時にテンポラリーアバットメントを使用することによって、審美的なサルカスの形成が可能です。テンポラリーアバットメントは咬合圧や舌圧がかからず、歯間乳頭を効率的にサポートできる高径のものをご使用ください。また、テンポラリーアバットメント上にはテンポラリークラウンを装着しないでください。

テンポラリーアバットメントのサイズや形態につきましては、製品カタログをご参照ください。

## OPTION THREE: 義歯を使用した暫間補綴処置



**1** 適切なサイズのテンポラリーアバットメントを選択します。



**2** テンポラリーアバットメントをインプラント体に装着します。



**3** 審美部位における多数歯欠損では、ノンクラスプ義歯を裏層することによって暫間補綴とします。



**4** ノンクラスプ義歯を装着した状態です。

# ブレビス オーバーデンチャーシステム



  
BREVIS<sup>™</sup>

# ブレビスアバットメントシステム

## ブレビスアバットメント\*

2.0mm ポスト

高径	角度	製品番号	0°	15°
2.0mm	0°	260-100-404		
2.0mm	15°	260-100-405		
4.0mm	0°	260-100-406		
4.0mm	15°	260-100-407		
6.0mm	0°	260-100-408		
6.0mm	15°	260-100-409		

## ブレビスアバットメント\*

2.5mm ポスト

高径	角度	製品番号	0°	15°
2.0mm	0°	260-250-424		
2.0mm	15°	260-250-425		
4.0mm	0°	260-250-426		
4.0mm	15°	260-250-427		
6.0mm	0°	260-250-428		
6.0mm	15°	260-250-429		

## ブレビスアバットメント\*

3.0mm ポスト

高径	角度	製品番号	0°	15°
2.0mm	0°	260-300-434		
2.0mm	15°	260-300-435		
4.0mm	0°	260-300-436		
4.0mm	15°	260-300-437		
6.0mm	0°	260-300-438		
6.0mm	15°	260-300-439		

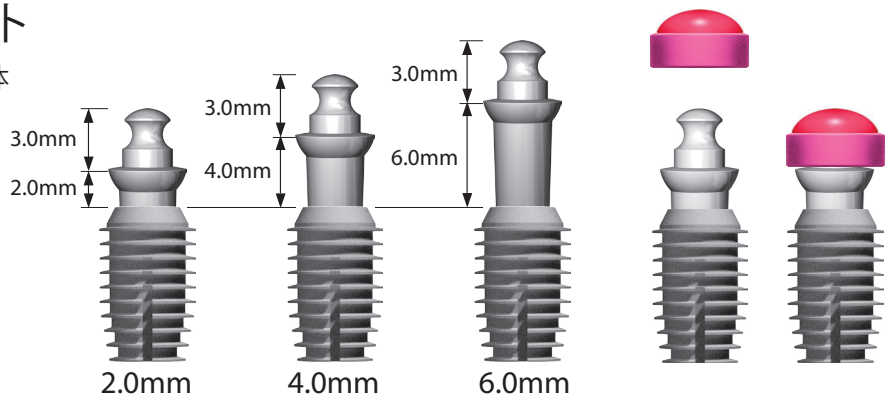
\*ブレビスアバットメントにはブレビスハウジングが1個付属しています。

## 補綴用コンポーネント

製品名	製品番号	部品イメージ				
ブレビスチェアサイドキット* *ブレビスハウジング内にはラバー製O-リングが予め装着されています。	260-100-212			ラバー製O-リング	ブレビスハウジング	
ブレビスインプレッションキット (ハウジング無)	260-100-218			インプレッションキャップ	トランスファーダイ	
ブレビスインプレッションキット* *ブレビスハウジング内にはラバー製O-リングが予め装着されています。	260-100-217					ラバー製O-リング ブレビスハウジング インプレッション キャップ トランスファーダイ
ラバー製O-リング(10)	260-100-014		ラバー製O-リング			

### ▶ ブレビスアバットメント

ブレビスアバットメントはインプラント体の上端からブレビスアバットメントの最大膨隆部までが高径です。

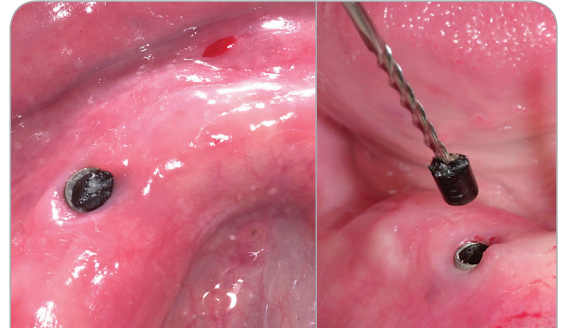


# ブレビスチェアサイドテクニック



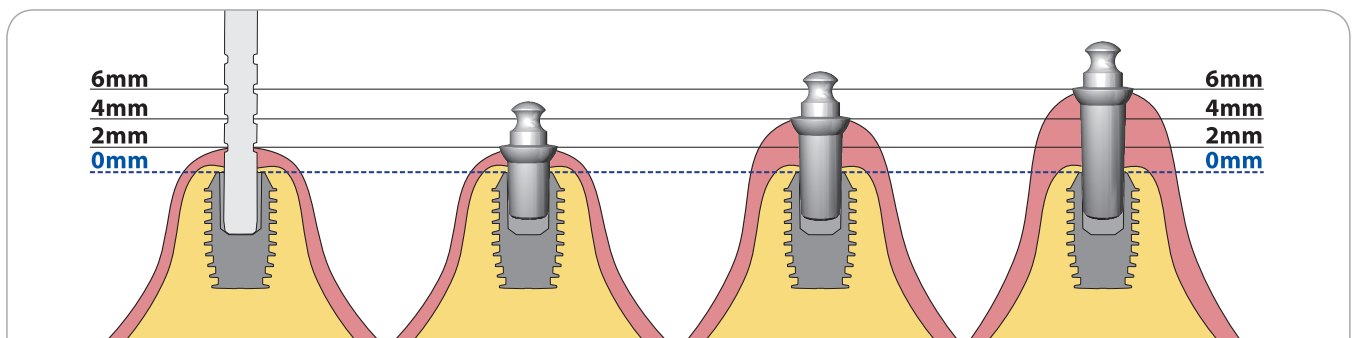
1 咬合採得

ブレビスアバットメントやブレビスハウジング装着時に咬合が狂わないようにするため、義歯を装着した状態で咬合採得をしておきます。



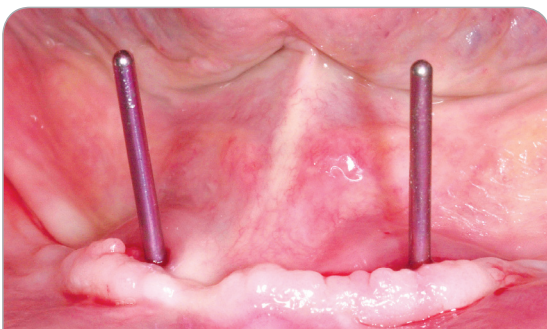
2 2次手術

歯肉を切開した後、ヒーリングプラグリムーバーを使用してヒーリングプラグを除去します。



3 ブレビスアバットメントの選択

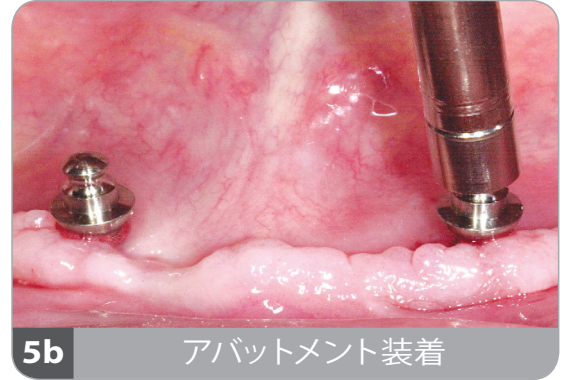
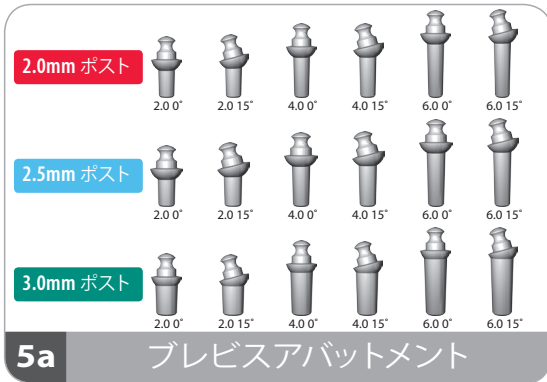
アバットメントショルダーデプスゲージを使用してブレビスアバットメントの高径を決定します。



4 ガイドピン装着

ガイドピンをインプラント体に装着し、ブレビスアバットメントの角度を決定します。





すべてのアバットメントが義歯の着脱方向に一致するよう、0° または15° のブレビスアバットメントを選択します。

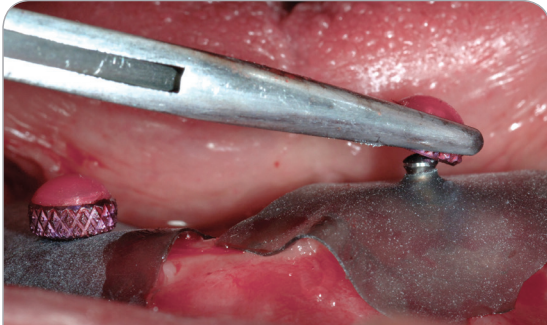


義歯のアバットメント位置づけ部位にブルーワックスを貼付します。ブレビスアバットメント上部をマーカーで印記し、義歯を装着してブルーワックス上にアバットメントの位置を記録します。



各ブレビスアバットメントにブレビスハウジングを装着します。

ブレビスハウジングとのクリアランスが十分に得られるよう確認しながら義歯をリリーフします。



**9** ラバーダムシート装着

口腔内よりプレビスハウジングを一時取り外した後、10mm角のラバーダムシートの中心部に穴をあけてプレビスアバットメントに装着し、再度プレビスハウジングを装着します。ラバーダムシートは、プレビスアバットメントのアンダーカット部に余剰レジンが入り込むのを防ぐために使用します。



**10** ワセリン塗布

プレビスアバットメントとプレビスハウジング間にレジンが入り込まないように、ラバーダムシートの下にワセリンを塗布します。



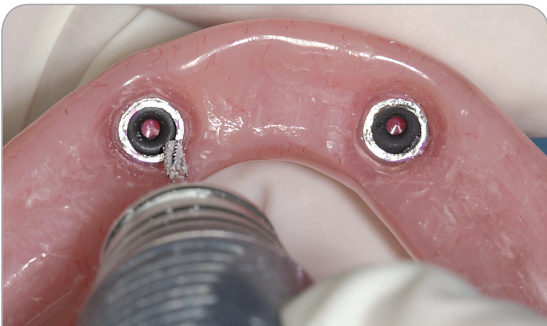
**11** レジン注入

プレビスハウジング周囲とリリースした義歯粘膜面にレジン注入します。



**12** 硬化

義歯を口腔内に装着し、ズレや浮き上がりのないようにロールワッテを両側で均等に咬合させます。



**13** レジン研磨

プレビスハウジングが義歯に取り込まれているのを確認した後、ラバーダムシートを取り外してレジンを研磨します。

**Note:** レジン硬化後に義歯が取り外せなくなってしまった場合は、リムーバーを使用して、インプラント体からブレビスアバットメントごと義歯を取り外します。

### ▶ Keys to Success

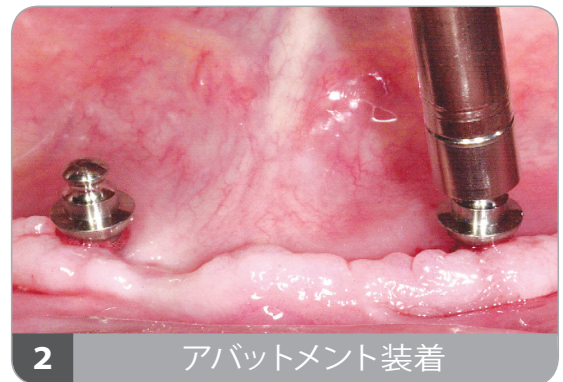
- チェアサイドテクニックを施行する際には、義歯の浮き上がりやズレを防ぐため、予め咬合採得をしておきます。
- すべてのアバットメントが義歯の着脱方向に一致するよう、0° または15° のブレビスアバットメントを選択します。
- オーバーデンチャーは粘膜支持とし、アバットメントやハウジング支持にならないようにします。
- ブレビスアバットメントを直接印象採得しないでください。
- ブレビスアバットメントのアンダーカット部に余剰レジンが入り込まないよう、ラバーダムシートとワセリンを使用します。
- シリンジを使用してレジンを口腔内や義歯に注入すると、操作性に優れ有用です。
- 粘度の高いレジンを使用すると、ブレビスハウジングがブレビスアバットメントに適正に装着されなかったり、義歯が浮き上がってしまう可能性があります。
- レジンの重合硬化を待つ間は、ロールワッテを両側で均等に咬合させます。
- 余剰レジンがブレビスハウジング内に入り込んでしまった場合は、ラウンドバーなどで削合します。
- ブレビスハウジングが適正に装着されていない状態で義歯を使用していると、ラバー製O-リングの劣化を早めてしまう可能性があります。



# ブレビス間接印象テクニック



すべてのアバットメントが義歯の着脱方向に一致するよう、0° または15° のブレビスアバットメントを選択します。



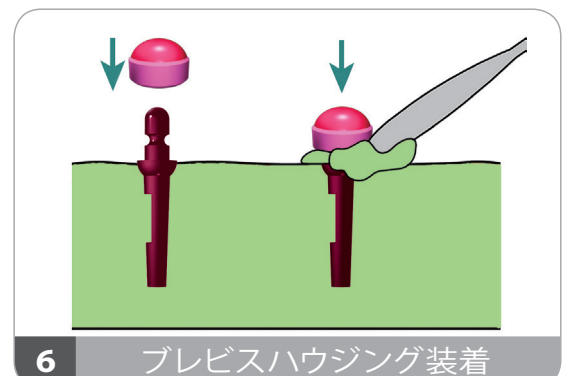
ブレビスアバットメントにインプレッションキャップを装着します。



インプレッションキャップを装着した状態で印象採得します。



トランスファーダイを印象面のインプレッションキャップに装着し、作業模型を作製します。



模型のアンダーカットをブロックアウトし、義歯にブレビスハウジングを組み込みます。



**1** O-リング除去

探針を使用してプレビスハウジング内のラバー製O-リングを除去します。



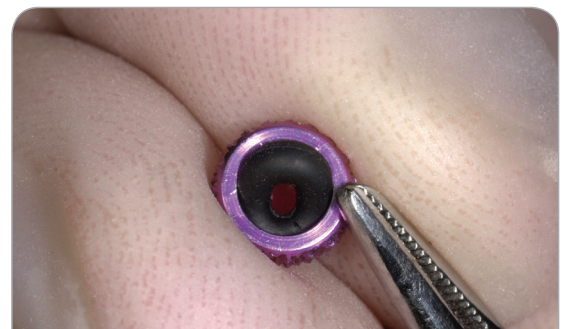
**2** O-リング挿入

ピンセットを使用して新しいラバー製O-リングを8の字状に把持し、プレビスハウジング内に挿入します。



**3** O-リング装着

プレビスハウジング内の保持溝にラバー製O-リングを装着します。



**4** O-リング位置の確認

ラバー製O-リングが保持溝内に収まっているのを確認します。

## ▶ Keys to Success

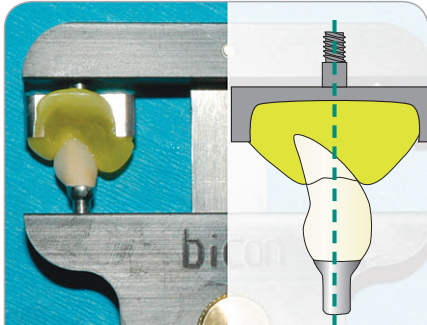
- 症例によって異なりますが、ラバー製O-リングは6～24ヶ月ごとに交換が必要です。
- ラバー製O-リングはアルコール含有量の高い溶液に浸漬しないでください。ラバーの劣化により適切な維持力を得られなくなる可能性があります。
- プレビスハウジングが適正に装着されていない状態で義歯を使用していると、ラバー製O-リングの劣化を早める可能性があります。
- ラバー製O-リングが極度に劣化してしまう場合には、義歯内のプレビスハウジングを一度すべて取り外し、再配列される事をお勧めいたします。

---

# Integrated Abutment Crown™ (IAC®)







シーティングジグ作製

クラウンアライメントデバイスとクラウンシーティングチップを使用して予めシーティングジグを作製しておき、インプラント体およびアバットメントポストの長軸方向に一致するようIAC<sup>®</sup>をタッピングします。



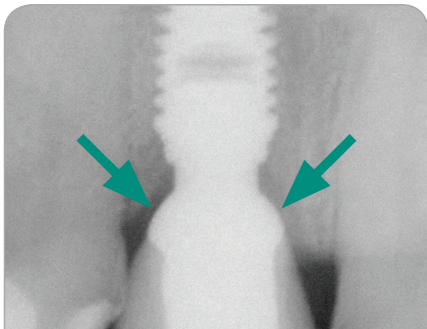
試適

IAC<sup>®</sup>を試適し、余剰骨の有無や隣在歯との位置関係を確認します。



余剰骨の除去

余剰骨によってIAC<sup>®</sup>の装着が妨げられている場合には、装着前にサルカスリーマーを使用し余剰骨を除去しておきます。また、必要に応じて歯肉切開を加えます。



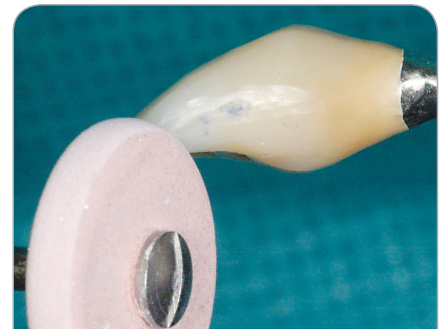
X線による確認

余剰骨の有無は、X線によって確認することもできます。余剰骨が存在するとアバットメントポストが適切な位置まで装着されず、IAC<sup>®</sup>が浮き上がる原因となります。



隣接面コンタクトの確認

デンタルフロスを使用して隣接面コンタクトを点検し調整します。隣接面コンタクトがきつすぎると、ロッキングテーパが適正に機能しないことがあります。



隣接面コンタクトの調整

特に上顎前歯部では、隣接面コンタクトがきつすぎると回転力によりIAC<sup>®</sup>が外れやすくなってしまふことがあるため、厳密な調整が必要です。



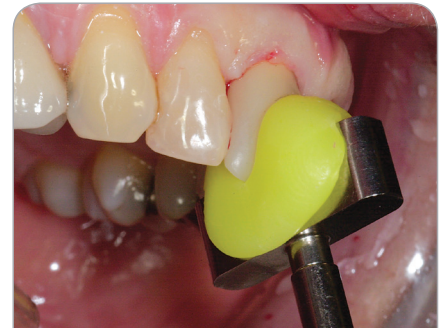
アルコール消毒

IAC<sup>®</sup>のポストとインプラント内部をアルコールで清拭し、汚染のない状態でIAC<sup>®</sup>を装着してください。



IAC<sup>®</sup>の装着

模型上におけるIAC<sup>®</sup>と隣在歯の位置関係を、ポジショニングジグを使用して口腔内に再現します。審美性と咬合関係を考慮しながら、IAC<sup>®</sup>の最終的な位置関係を決定します。



タッピング

クラウンシーティングチップをスレデッドハンドルに装着し、IAC<sup>®</sup>をタッピングします。臼歯部においては咬合力で装着が可能な場合もあります。



隣接面コンタクトの確認

タッピング後に、再度隣接面コンタクトを確認し、調整します。



咬合調整前

接触状態



咬合調整後

接触状態

中心咬合位、前方運動時における咬合を調整します。



前方運動時の咬合調整

接触状態



接触状態

下顎からの突き上げがないよう、中心咬合位においては前歯部が接触しないようにします。

下顎可動域内におけるあらゆる接触状態を確認します。

## 装着用コンポーネント

製品名	製品番号	
クラウンアライメントデバイス*	260-101-315	 クラウンアライメントデバイス
*クラウンシーティングチップ2個、2.0および2.5mmアバットメントホルダーチップ各1個が付属しています。		
クラウンシーティングチップ	260-101-015	 クラウンシーティングチップ
ハイドロプラスチックレジン (20g)	260-103-031	



## アバットメント



装着されたアバットメント



**OPTION ONE:** アバットメントを把持し、回転を加えて除去します。

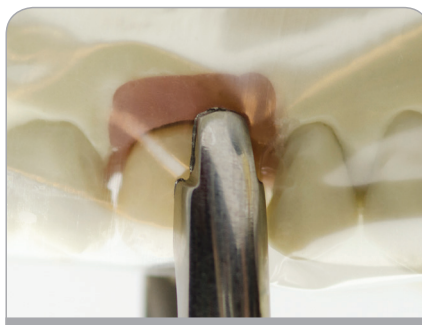


**OPTION TWO:** アバットメントを把持し、アバットメント除去用フォーセップスの柄をタッピングして除去します。

## クラウン



装着されたクラウン



**OPTION ONE:** 傷をつけないようクラウンを保護した状態で把持し、回転を加えて除去します。



**OPTION TWO:** 傷をつけないようクラウンを保護した状態で把持し、アバットメント除去用フォーセップスの柄をタッピングして除去します。

## アバットメントフォーセップス

製品名	製品番号	
アバットメント除去用フォーセップス (上顎用)	260-801-055	
アバットメント除去用フォーセップス (下顎用)	260-801-056	



販売名	医療機器承認番号	販売名	医療機器届出番号
バイコンデンタルインプラント補綴用コンポーネントN	20800BZG00044000	インプラントスペーシングテンプレート	13B1X00164000017
バイコンデンタルインプラント	20800BZG00045000	チゼル	13B1X00164000018
バイコンデンタルインプラント補綴用コンポーネントS	20800BZG00046000	トレフィンバー	13B1X00164000019
販売名	医療機器届出番号	ペリオトーム	13B1X00164000020
バイコン外科手術用キット I	13B1X00164000007	キュレット	13B1X00164000021
ボーンエクスパンダー	13B1X00164000012	ラテラルサイナスリフトインストゥルメント	13B1X00164000022
歯肉パンチ	13B1X00164000013	サイナスリフトバー	13B1X00164000023
バー	13B1X00164000014	技工用アバットメント	13B1X00164000060
歯科印象採得用トレー	13B1X00164000015	印象用コンポーネント	13B1X00164000061
X線写真用グリッド	13B1X00164000016		



**bicon**<sup>®</sup>  
DENTAL IMPLANTS

**WORLD HEADQUARTERS**

501 Arborway  
Boston, MA 02130 USA  
tel: 800.88.BICON 617.524.4443  
fax: 800.28.BICON 617.524.0096  
web: [www.bicon.com](http://www.bicon.com)  
e-mail: [support@bicon.com](mailto:support@bicon.com)

バイコンジャパン株式会社

〒103-0016  
東京都中央区日本橋小網町18-10  
共和日本橋ビル8F  
tel: 0120-8150-62  
fax: 0120-418-117  
web: [www.bicon.co.jp](http://www.bicon.co.jp)

